

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東北自動車道 蓮田SA(上り線)商業施設	階数	地上1F
建設地	埼玉県蓮田市大字川島字押出	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、埼玉県景観区域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2019年5月31日
敷地面積	81,493 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 船場 鈴木 裕之
建築面積	3,368 m <sup>2</sup>	確認日	2019年6月4日
延床面積	2,999 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 船場 鈴木 裕之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.8</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 98% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>③上記+②以外の 98% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>④上記+ 98% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア= 2.9</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 3.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 3.3</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア= 2.4</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア= 2.7</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 2.9</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 2.5</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建物として、内装材にF☆☆☆☆を使用し、室内環境に配慮している。また、建築基準法に定められた25%増の耐震性を有している。</p> <p>環境として、外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減し、多くの交通負荷を抑制している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>全面禁煙をしており、内装材にF☆☆☆☆を採用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>建築基準法に定められた25%増の耐震性を有しており、機械・配管支持方法も耐震クラスSとしている。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>地域内の豊かな中間領域、地域の防犯性を形成している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>外皮に断熱施工をすることにより外部からの熱負荷を軽減している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>特になし。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>多くの交通負荷を抑制する取り組みをしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**東北自動車道 蓮田SA(上り線)商業施設他新設工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.3</b>	0.15	-	-	<b>2.3</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
1.2 遮音						<b>1.4</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						1.0	0.77	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.23	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.7</b>	0.35	-	-	<b>2.7</b>
2.1 室温制御						<b>3.3</b>	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.50	<b>3.0</b>	-	
2 外皮性能		物販:U値0.82、SC0.8。飲食:U値1.0、SC0.7。				5.0	0.17	<b>3.0</b>	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
3.1 屋光利用						<b>3.0</b>	0.79	-	-	
1 屋光率						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 屋光利用設備						3.0	1.00	<b>3.0</b>	-	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	-	-	-	
1 屋光制御						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3.3 照度						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.21	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.7</b>	0.25	-	-	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。				4.0	1.00	<b>3.0</b>	-	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 換気量						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	<b>3.0</b>	-	
4.3 運用管理						<b>4.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		全面禁煙				5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.2</b>	0.40	-	-	<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.7</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		フードコートは3.6m以上、生鮮売り場は3m。				4.0	0.43	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.14	-	-	
3 内装計画		取り組みが3つ→レベル4				4.0	0.43	-	-	
1.3 維持管理						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.8</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:磁器質タイル、天井:プラスターボード=20年以上レベル5とした				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管=B、雑排水=B、二種類B以上、E無し				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>3.4</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスS				5.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.121...	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.4</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		評価ポイント4	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.9</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.71	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.98	<b>2.1</b>	0.50	-	-	<b>2.1</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.5</b>
1 水資源保護			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.4</b>	0.60	-	-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>2.3</b>	0.20	-	-	<b>2.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>2.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	1.00	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 地球温暖化への配慮			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.5</b>	0.33	-	-	<b>2.5</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		評価ポイント4	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	東北自動車道 蓮田SA(上り線)商業施設他新設工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	---------------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.0	+	1.6	=	4.6
				
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
				

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 多くの交通負荷を抑制する取り組みをしている。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 特になし。			

: 入力欄

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	LF久喜	BEE	1.5	BEEランク
------	------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.8	+	2.6	=	6.4 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減</b>		スコア平均	3.8
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
< 配慮した内容を記述 > 外皮性能に配慮し、少ないエネルギーで建物内の環境を整えられるよう設計した。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 > 緑地を確保し、敷地内の屋外部分の環境の向上に努めた。			

: 入力欄